

事業番号	10 04 06	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
			実施期間	S33 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

・野生鳥獣による農林業被害は、10年間で約4割減となるなど減少傾向にあるが、近年は減少幅が小さくなっている。  
 ・農林業被害防止のためには、緩衝帯整備や誘引物の除去を行う「生息環境対策」、侵入防止柵設置等の「防除対策」、加害個体等を対象とした「捕獲対策」を組み合わせた総合的な対策が必要となる。

### 2 事業目的

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策
- ・国庫補助金の内示差による事業費の減額
  - ・事業費の確定による減額
- ※その他の事業は当初予算、9月補正のとおり
- ②特定鳥獣保護管理の推進
- ・事業費の確定による減額
- ※その他の事業は当初予算のとおり

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	農林業被害額	千円	731,552	738,012	↘	774,674	↘	734,619		今後5年間で、直近で一番少ない被害額となった令和3年度の被害額と同程度まで減らすため目標値を設定している。	
②	第二種特定鳥獣管理計画の計画数	件	5	5	→	5	→	5		生息数等が増加している5つの野生鳥獣に関して生息状況調査や特定委員会による検討を実施するため目標値を設定している。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1②	人と自然が共生する社会の実現											

### 6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)			
R6年度	0	400,405	△17,898	△43,500	382,507	97,158	7.0	
R5年度	0	458,051	△103,576		354,475	89,806	311,394	7.0
R4年度	0	394,605	△40,473		354,132	75,293	308,907	7.0

事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
1	狩猟対策事業		19,030 千円	28,415 千円	予算現額 37,750 うち今回 補正額 △1,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	免許事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 狩猟免許試験 10地域で実施予定		
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 ※事業費の確定による減額 整備箇所 1か所（県営総合射撃場）		
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びびわな猟免許新規取得者に講習を実施 講習会 10回実施予定		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
2	鳥獣保護管理事業		35,564 千円	38,374 千円	予算現額 50,379 うち今回 補正額 △3,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 鳥獣保護管理員 126人		
2	特定鳥獣保護管理事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催</li> <li>野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、第二種特定鳥獣管理計画策定獣種（R6はニホンジカ）の生息状況等調査を行い、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施</li> <li>R5年度に実施した調査結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画（カモシカ）を策定</li> </ul> ※事業費の確定による減額 特定鳥獣保護管理検討委員会11人、会議は3回開催 第二種特定鳥獣管理計画（第6期カモシカ管理）策定		

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	野生鳥獣総合管理対策事業	283,638 千円	281,686 千円	予算現額 294,078 うち今回 補正額 △39,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	<p>・野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金により二ホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施</p> <p>・市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施</p> <p>・二ホンジカ等の食害から再造林後の苗木を守るためのわなの見回り、機器の保守作業等の活動経費を支援</p> <p>※国庫補助金の内示差による事業費の減額</p> <p>支援対象 84団体</p>	
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	<p>二ホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲実証を実施</p> <p>センサーカメラ等を活用した効率的な手法による捕獲目標数 50頭</p>	
3	持続型捕獲モデル実証事業	委託 補助金	<p>再造林の支障となる二ホンジカの捕獲を促進するため、効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエ利用に向けた取組に対する支援を実施</p> <p>※国庫補助金の内示差による事業費の減額</p> <p>実施箇所 1箇所</p>	

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
4	豚熱対策事業	15,900 千円	6,000 千円	予算現額 300 うち今回 補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	総合的な害獣対策事業	直接	<p>野生イノシシの個体数低減と豚熱感染抑制を図るため、野生イノシシのジビエ利用再開に向けた防疫・検査体制の整備</p> <p>国手引きに基づき野生イノシシのジビエ利用に向けた意見交換会の開催 2回</p>	